

柳川から合川 平谷村

沢登り

2022年08月27日(土), 28日(日)

参加者：広瀬, 桐林 (記)



馬沢泊地

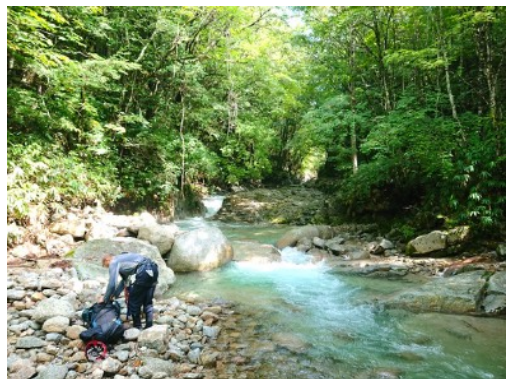
広瀬氏に誘われ、柳川から合川を周遊する溯下降。1600mの峠を越え馬沢を経由して合川へ。前年試みたが時間切れで、大川入山手前の鞍部より戻ったとのこと。懸念していた峠の詰めは、藪漕ぎもほぼなく快適に遡上していった。全行程でロープ未使用。

浜松を4時ごろ出発。ひまわりの湯で仮眠し、車を各川に配置。7時出発。2人だけなので、順調にペースを伸ばす。右壁より15mの滝がかかる子ゴルジュは、10年前淵となっていて泳ぎでの突破が難しかったそうだ。前回撤退場所の5mの滝は、左壁より高巻き。ロープがかかっていた。事前に佐藤氏より登れる滝があるとの情報を持ちまだかまだかと、5mの滝。7mの滝。全て右壁より乗り越す。

大川入山の手前鞍部に抜ける沢に11

時前に着。その後、本流と峠に分かれる二股に。その支流がさらに二股に分かれ北上。最後まで水が流れ、迷うことなく峠へ出た。12時ごろ着。馬沢への下降は緩やかですぐに沢の音が聞こえてきた。山の崩壊による土砂の流れ込みで、歩きやすい。途中竿を出しつつ、ベースに14時着。設営後に2匹釣り上げた。火を起こそうとするも、東西に伸びた馬沢は湿っていて木もしょんぼり。火が付かない時間を、長く感じた。

翌日の出発は遅め、8時45分発。火が付きにくい。懸垂が必要な区間はなく、高巻きも明瞭。一つ軽い飛び込みをし勢いづけた。釣り師に1人と2人組、林道区間で2人組の山屋さんに遭遇。合川は人気のようだ。林道区間で3段の釜を持つ箇所があり、合川の大きさを知った。駐車場に12時着。



合川は明るく広く、夏休みを感じさせる